

1. 学校の教育目標

建学の精神「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」を教育目標とし、グローバル時代・高度情報化時代に対応した「活躍力」を一人ひとりの生徒に身につけさせる。中学校は「手塩にかけた指導」、高等学校は「自律心を持った自立した生徒の育成」を教育の特徴とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 人と組織の成長
 - ①組織力・教師の教師力／人間力／教科指導力の向上
 - ②教師の質の向上
- (2) 大学進学実績の向上・明星教育の質の向上
 - ①高校3年生の指導の深化と進化（進路指導力・進路指導システム）
 - ②中学1年～高校2年までの学年主導の進路指導・教科指導
 - ③第2次教育イノベーションフェーズの設計と移行
 - ④各学年ミッションの実行（ミッションシート・ミッション面談運用）
 - ⑤GTZ(ベネッセ学力到達ゾーン)向上
- (3) 一貫教育の推進
 - ①学内進学率の向上
 - ②高大接続の深化と進化
- (4) 教育の特徴の具現化
 - ①授業力・教育指導力向上
 - ②新学力観を意識し教育改革の推進
 - ③心の教育の推進
- (5) 入学広報戦略・戦術の再設計
 - ①高校2020への対応
 - ②中学2020への対応

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 人と組織の成長	B	職員会議／企画運営会議の機能向上・学年主体の企画運営
(2) 大学進学実績の向上	A	国立大（準大学含）18（東大・一橋大・東北大・東京医科歯科・東京農工大・電通大他）、早慶上理24、GMARCH70
	A	学年主任会で協議・決裁→学年で運営実行のプロセス
	A	新高1教育コンセプトの完成から募集までの設計
	B	学年ごとのミッション面談・評価面談の実施
	B	各学年のスタディサポート・進研模試GTZアップ
(3) 一貫教育の推進	B	小中継続前年度比アップ、中高継続90%達成、明星大学合格104達成
	A	高大接続事業・講座の増加
(4) 教育の特徴の具現化	B	授業アンケート・保護者アンケート学校満足度70%評価
(5) 入学広報戦略・戦術の再設計と入学者確保	B	高校入学者389
	A	中学入学者140

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	校務主任・学年主任・教科長が管理職の意を受けてそれぞれの職域でメンバーを動かし、機能的かつ成果創出に向けて職員全体が職務の遂行に邁進した。その結果、大学合格実績向上、諸学校活動行事の活性化、各学年の生徒の成長、授業アンケート・保護者アンケートの満足度アップ、中学・高校とも新入生の確保につながった。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
中高一貫教育の再設計	教育イノベーションPJ及びタスクフォースチームで新教育プラン策定 現中学1年～3年の変化へのチャレンジ企画と運営
コース制導入	各コースの教頭・学年主任を中心に企画・運営・進捗管理・ コース目標の達成／各所属教師の自覚と成長への仕掛け
新学力観への教科指導	研修会・勉強会等の機会創成／各教科・学年の指導への客観的評価
大学進学実績の向上	新進路指導体制と高校3年の連携／中1～高2の学年シラバス企画・運用
教師力・指導力向上	継続的な研修体制・指導体制の確立
SDGs推進教育	学校・学年・教科・行事・個人レベルでの企画実行確認と研修